

診療及び患者紹介のお願い

● 午後の内科一般外来の閉鎖についてのお願い

4月7日より、群大からの医師派遣が減員となり、午後の内科一般外来を閉鎖することとなりました。専門外来は今まで通り行っております。医師体制が充足された時点で、再開させていただきます。

患者様を初め、ご紹介いただく先生方には大変ご迷惑をお掛けしますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。二次救急の対応は今までどおり行ないますので、ご紹介ください。

午後の内科休診に伴い、患者様が皆様の病医院に受診するようになるかと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。

● 患者様のご紹介についてのお願い

日頃より多くの患者様をご紹介いただき有難うございます。内科一般外来の午後休診など診療体制にご迷惑をお掛けいたしますが、今後ともよろしくお願ひいたします。

ご紹介をいただく際に、下記についてお願ひ申し上げます。

- ① 急患や重症患者様のご紹介の際には、各科へお電話にてご一報ください。
- ② ご紹介の患者様には、簡単で構いませんので診療情報提供書を必ずお書きくださるようお願いいたします。（診療情報提供書は御返事や逆紹介のための資料に役立たせていただきます。）

以上、誠に勝手なお願いですが、患者様を中心とした円滑な医療連携を進めるためにぜひご協力ください。



利根中央病院

病院 だより

第5号
2005年4月

企画発行 利根中央病院地域医療連携室
〒378-0053 群馬県沼田市東原新町1855-1
電話 0278-22-4321 FAX 0278-22-4393
URL <http://www.tonehoken.or.jp/>
E-Mail master@tonehoken.or.jp

理念と方針

理念 安心と安全、参加と共同
患者中心のチーム医療

方針 ☆救急体制の充実、いつも安全確認
絶やさぬ笑顔
☆診療情報提供と共に作る診療計画
☆広げよう人と人との結びつき
すすめよう健康づくりまちづくり



創立50周年を迎えた利根中央病院全景

創立50周年を迎え、これまでの活動の歴史を振り返り、新たな50年に向かって地域の皆さんとともに活動してまいります。



利根中央病院 院長 都築 靖

研修医に期待する

—素朴な人情にふれ
幅広い知識を持った医師に—

先日、当院の医師研修担当職員と二人で市庁舎に星野巳喜雄沼田市長を訪問し、新卒「医師研修管理委員会」に外部委員の一人として参加して欲しい旨要請致しました。市長は「よくわかりました。検討して期待に応えたいと存じます。」と好意的な態度でした。

そもそも医師研修は、医療供給体制の根幹となる非常に大切な社会事業です。過去36年間、医師研修は大学病院に任され、プライマリケアが苦手な専門医が養成されつづけました。「ピサの斜塔」ばりの医師養成がなされてきたのです。地域住民や患者は、幅の広い基礎のしっかりした「富士山」型の研修をした医師を望んでいます。専門に特化した医師の存在は重要ですが、全ての医師がそれでは住民・患者の要求に応えきれません。昨年度から出発した「新医師臨床研修制度」はそういった意味からも、日本の医師養成の在り方を転換する上からも、重要な意義を持っているものと考えます。

県北唯一の医師臨床研修病院として、当院も2年目を迎え、研修医2年目2名1年目4名と6名の医師が、本当に真剣に、研修に日夜励んでいます。研修医としての2年間を利根沼田で素朴な人情に触れ、明るく、自由に、地域を知りながら、医師として臨床医学と医療を身につけて頂きたい。そして研修終了の時点では、自分の将来の希望が明確になり、当院のシニアコース、あるいは大学病院の専門科、あるいは都市の専門病院等々自由にコースを選択し、幅の広い医師に成長してもらいたいと念じています。

新任医師紹介

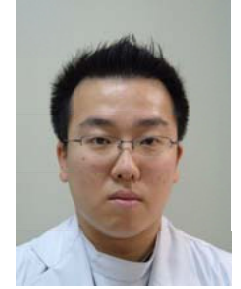
内科医師



笠原隆行



橋爪真之



戸島洋貴

透析科医師 — 小児科医師 — 産婦人科医師



高橋哲史



谷本敬美



栗原 努

泌尿器科医師 — 皮膚科医師



森田崇弘



都丸佳保里

よろしく
お願いします

組合員さんをはじめ、地域の皆様のお力になれるよう、頑張ります。お気軽に声をかけていただければ幸いです。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

医師会症例検討会

症例検討会を沼田利根医師会との協賛で年2回開催しております。今回は6月13日（月）に決定いたしました。症例については、日常的で地域医療に関する内容を検討しております。院内医師は医局会と振り替えて多数参加します。紹介患者様のご閲覧希望の資料がありましたら対応させていただきます。

病診連携セミナー

今までに「新MRIについて」や「気道確保のストラテジー」をテーマに開催いたしました。ご要望のテーマがありましたら、地域医療連携室までご連絡いただければ幸いです。

院内研修受け入れ案内

当院では、地域医療の充実を図ることを目的に開業前研修の受け入れを行っております。開業予定の先生や跡継ぎの先生に対して、当院での見学や他科実習をしていただき、開業のお手伝いをさせていただきます。ご不明な点はお問合せください。

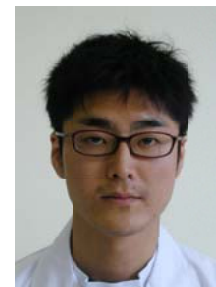
地域医療連携室問い合わせ先
電話（直通電話） 0278（22）4325



当院研修医紹介

研修も軌道に乗るところ

この4月で新臨床研修制度が始まり1年が経ちました。私は、この新制度の下、1期生として1年間研修させていただいたのですが、非常に充実した内容の濃い1年間を過ごさせてもらったと感じています。利根中央病院としての新研修医4人を新たに迎え、手探りであった研修も軌道に乗るところとなっております。自分自身は新制度1期生として研修する中、早くも制度見直しのニュースが報道されたりと今後の見通しが立たない不安感もありますが、この春大学を卒業したばかりのフレッシュでやる気に満ちている新研修医の皆さんに囲まれ、新たな刺激を受けつつ、今できることを1つ1つ確実に一生懸命にがんばっていきたくて思っております。



杉山大介
（平成16年卒）

地域に役立つ医師に…

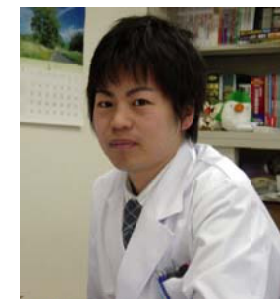
はじめまして。この4月より利根中央病院で臨床研修2年目をさせていただくこととなりました安岡です。1年目は群馬大学附属病院で研修しておりました。大学病院ではなかなか経験できないような症例も多く、充実した研修をさせていただいております。沼田は馴染みも深く、この地域の皆様のお役に立てるよう頑張っておりますので、よろしくお願いたします。



安岡秀敏
（平成16年卒）

地域医療の実践に最適の場

はじめまして。群馬大学出身の角田和彦です。四月より念願だった利根中央病院での研修をスタートすることができました。地元の住民の皆さんと密着し、協力しながら診療を行っている利根中央病院は、プライマリケア・地域医療を実践していくのに最適の場だと考えています。多くの患者さんを通して幅広い知識を修得し、手技を研鑽していくために積極的に研修していきたいと思っておりますのでご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



角田和彦
（平成17年卒）

プライマリーケア学びたい

こんにちは。4月から利根中央病院で研修医をさせていただいている内藤雅仁です。利根中央病院では、地域に密着したプライマリーケアを学びたいと思い、働かせていただくことにしました。志望は現在のところ外科ですが、外科という枠に囚われずプライマリーケアをしっかりと学びたいと思っています。2年後の目標は、公共の場で人が倒れた時に積極的に医者であることを表明し、どんな疾患でもとりあえずの初期治療ができるようになることです。一生懸命学ばせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



内藤 雅仁
(平成17年卒)

熱い研修受けたい

この春、群馬大学を卒業いたしました村田舞です。1年前の利根中央病院での臨床クラークシップ実習を経て、ぜひこの病院で熱い先生方のもと熱い研修を行いたいと願い、4月より研修をさせていただくこととなりました。プライマリーケアを軸に様々な手技や知識、考え方や信念など自分の医師としての礎を築きたいと考えています。初期研修の2年間という時間を濃く有意義なものにするべく、この病院での研修を志願した初心を忘れずに研鑽を積みたいです。精一杯頑張りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



村田 舞
(平成17年卒)

群馬の医療見てみたい

初めまして、山田俊哉と申します。出身地は沼田市で、大学は旭川医科大学出身です。利根中央病院を志望した理由は、将来的に利根沼田での医療に携わりたいと考えており、医師としてスタートである最初の初期研修では利根中央病院で研修をさせていただき、地元の利根沼田を始め、群馬県の医療を見てみたいと思志望しました。まだまだ、わからないことだらけですが、是非ともよろしくお願いいたします。



山田 俊哉
(平成17年卒)

お知らせ

地域医療連携室

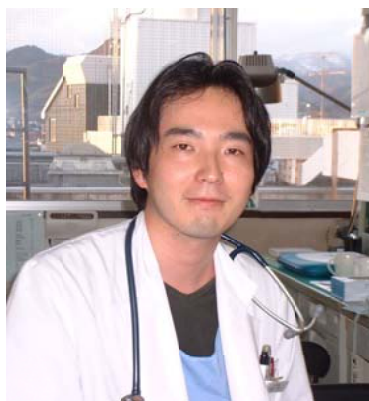
地域医療連携室ではより良い医療連携を進めるための取り組みとして、年間を通じて各企画のご案内を行っております。情報交流の場としてご利用いただければ幸いです。お忙しいとは思いますが、お気軽にご参加くださるようお願い申し上げます。下記の企画は全て日本医師会生涯教育に認定されております。

オープンCPC

院内で行って参りましたCPCを昨年8月より公開いたしました。通算176回を数える歴史あるCPCです。院内で病理解剖依頼のあった症例について、毎月2例を選択し、主治医からの経過報告、放射線科医師からの読影報告、病理医師からの解剖報告(マクロ・ミクロ)を行い、病理解剖診断書が提示されます。現在の参加者は、院内医師、医師会の先生方、検査技師等約20名となっております。

*毎月第3月曜日(祝祭日の場合はお休み) 18:30~20:00 於: 当院研修棟





内視鏡紹介

内科(内視鏡室担当)
田中良樹

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	胃内視鏡	胃内視鏡	胃内視鏡	胃内視鏡	胃内視鏡	胃内視鏡 ERCP
午後	大腸内視鏡	大腸内視鏡	大腸内視鏡, 気管支内視鏡	大腸内視鏡	大腸内視鏡, 気管支内視鏡	

当院内視鏡室では、原則的に、上記日程で、検査、治療を行っております。
また、緊急検査、治療内視鏡に関しては、適宜行っております。

平成16年の実績は、胃内視鏡 約3,000件、大腸内視鏡 約700件、ERCP(胆・膵内視鏡) 約130件、気管支内視鏡 約60件、治療内視鏡 約200件となっております。今後とも、より安全、的確な検査治療を行っていききたいと思います。



糖尿病 教育入院システム改編



利根中央病院 内科
(糖尿病担当) 葭田明弘

先生方におかれまして日頃より当院の病診連携に御協力頂きありがとうございます。

この度、当院の糖尿病教育入院システムを改編し先生方に御利用していただきたく御案内させていただきます。

御存知の通り糖尿病は自覚症状に乏しいこともあり、セルフコントロールの難しい疾患です。また糖尿病による合併症のため、冠動脈や脳血管疾患等の動脈硬化性疾患や糖尿病性網膜症及び糖尿病性腎症等の患者様が当院でも増加しています。これまでも入院にて糖尿病教育や血糖コントロール等を行ってまいりましたが、利根沼田地区における糖尿病診療のレベルアップのためリニューアル致しました。医師、看護師、薬剤師、栄養士、PT、検査技師が参加しそれぞれの分野で約2週間の教育を行います。糖尿病のよりよい血糖コントロールには病気を正しく理解し正しい食事療法や運動療法を習得することが不可欠です。しかしながら忙しい外来診療の中では限界があります。特に初めて糖尿病の診断を受けた方には正しい教育が必要であります。このような観点から今回のリニューアルにいたしました。

先生方にも是非当院の糖尿病教育入院を利用していただき、退院後は患者様のフォローアップをお願いしたいと思います。

患者様の合併症予防や将来のQOLの維持のため、さらに先生方の日常診療の一助のため当院のチーム医療がお役に立つことができれば幸いです。是非御活用下さい。

末筆ではありますが、先生方のますますの御活躍と病診連携のさらなる充実を祈念いたします。



利根中央病院での 臨床心理士の活動

臨床心理士
川合利恵

最初に資格についてですが、原則的には、臨床心理士の養成大学院を出た者が、文部科学省認定の臨床心理士資格試験に合格後、取得できます。その後も、専門性を高めていくことが義務づけられており、研修などに参加し、一定のポイントを獲得しないと資格が維持できない仕組みになっています。（5年ごとの更新）

現在、全国に1万余人、群馬県では100名ほどの臨床心理士がいます。地域による偏りもみられ、利根沼田地域は特に少なく、スクールカウンセラーがパートである他、当院に常勤の臨床心理士が1名いるといった状況です。

臨床心理士と一口にいっても、活動の場によって、その臨床心理士の得意とする技法によって、活動の内容が違ってくる場合があります。（目指すところは、悩みを抱える人が生きやすくなるように援助するといった点では同じです。）個別の心理療法や集団精神療法、あるいはコンサルテーション、組織全体に関わるメンタルヘルスなど様々です。

ここで、総合病院の中の精神科に所属している臨床心理士として、自分自身の現在の活動について紹介したいと思います。

- ①精神・神経科外来の個別心理療法（カウンセリング）や知能などの心理査定
- ②精神科デイケアの集団療法
- ③かんわチームの緩和ケア活動

ただし、これといった決まった形があるわけではなく、病院内のニーズや地域のニーズによっても、今後変化していくことと思います。

精神・神経科外来での活動を少し詳しく述べますと、この2年間での個別心理療法は、累計で23人、年代は10～20代が多く、30～50代までは若干名で、神経症レベルの人が中心となっています。主訴は、過食をやめたい、人間関係の改善、頭痛・腹痛などの身体症状の改善などです。また、喪の作業（注1）の援助を行なうこともあります。

児童・思春期などのように、治療に時間が必要な患者さんが対象となることが多く、精神・神経科外来に受診していただき、医師と臨床心理士とが関わる形で行なっています。なお、1回50分の面接時間で行っているため、個別の心理療法のできるケースの数は限られてしまっていますが、できる限り対応をしていきたいと考えています。

（注1）喪の作業とは・・・愛する人、大切なものを失った時に生じる悲哀から回復していく過程を言う

放射線科紹介

当科では地域医療連携のために、CT・MRI・RI検査の紹介を承っております。当院地域医療連携室へ直通電話をかけていただくと、上記検査の予約ができます。患者さんは検査当日に来院し、検査を受けていただきます。検査終了後に、原則としてただちに放射線科医師が読影して報告書をお返しいたします。

検査内容についてのお問合せがありましたら、同じく地域医療連携室までお電話ください。よろしくお願いたします。

放射線科医長 大屋成之

